

事業名	補助砂防事業(通常分)	路線名等	桑畑谷
箇所名	十津川村桑畑		

事業の概要	目的	【奈良県土砂災害対策基本方針】Ⅰ：崩落やその兆候が見られる箇所 土石流対策の砂防堰堤を整備し人命及び第1次緊急輸送路(国道168号)を保全する。				
	事業内容	工種：砂防堰堤工(不透過型堰堤) 保全対象：人家2戸、国道168号(桑畑橋含む)				
	着手年度	平成25年度	完成予定年度	平成27年度	全体事業費	270百万円

定性的評価	事業の必要性	当該地区は奈良県南部の十津川村に位置し、保全対象には第1次緊急避難道路の国道168号、人家2戸が含まれる。紀伊半島大水害で土砂移動が確認され溪岸浸食により家屋直下まで溪岸が浸食されていることから、早期の対策が必要である。
	上位計画等	奈良県土砂災害対策基本方針
	事業の有効性 (事業により予想される効果及び影響)	【費用対便益】 B／C＝－ 【便益に計上されていない効果】 ・国道168号途絶に伴う迂回車両の増加による温室効果ガスの増加、迂回路の損耗。 ・国道168号途絶に伴う災害時の復旧遅延。 ・森林の造成若しくは維持が図れる。 ・1級河川 熊野川への土砂流出防止
	コスト縮減への取り組み	
	地元情勢等	①平成22年1～2月 ヒアリングにより市の担当部局に土砂災害対策基本方針(案)について説明。 ②平成24年12月 十津川村村長と協議の結果、土砂災害から住民の生命、財産を守るため早期の対策が必要との回答を得ている。
	他計画他事業との関連	

評価結果	左の理由
採択 (付帯条件付き)	奈良県土砂災害基本方針に基づく事業であり、緊急性も認められるため採択とする。 ただし対策範囲については地区全体ではなく、奈良県土砂災害基本方針に基づいた変状・前兆現象・代替性のない避難所・24時間入居している災害時要援護者関連施設の保全及び避難計画等に必要最低限の範囲とする。また、施設移転についても継続的に協議を行うこととする。

位置図



この地図は国土地理院の5万分の1を転載(奈良県道路網図平成23近複第71号)



砂防えん堤(予定)



国道168号(桑畑橋)



保全人家



保全人家